



防災集団移転跡地利活用事業

相馬市企画政策部企画政策課

市の概要

◆面積 197.79km²

◆人口 31,856人（令和7年8月）

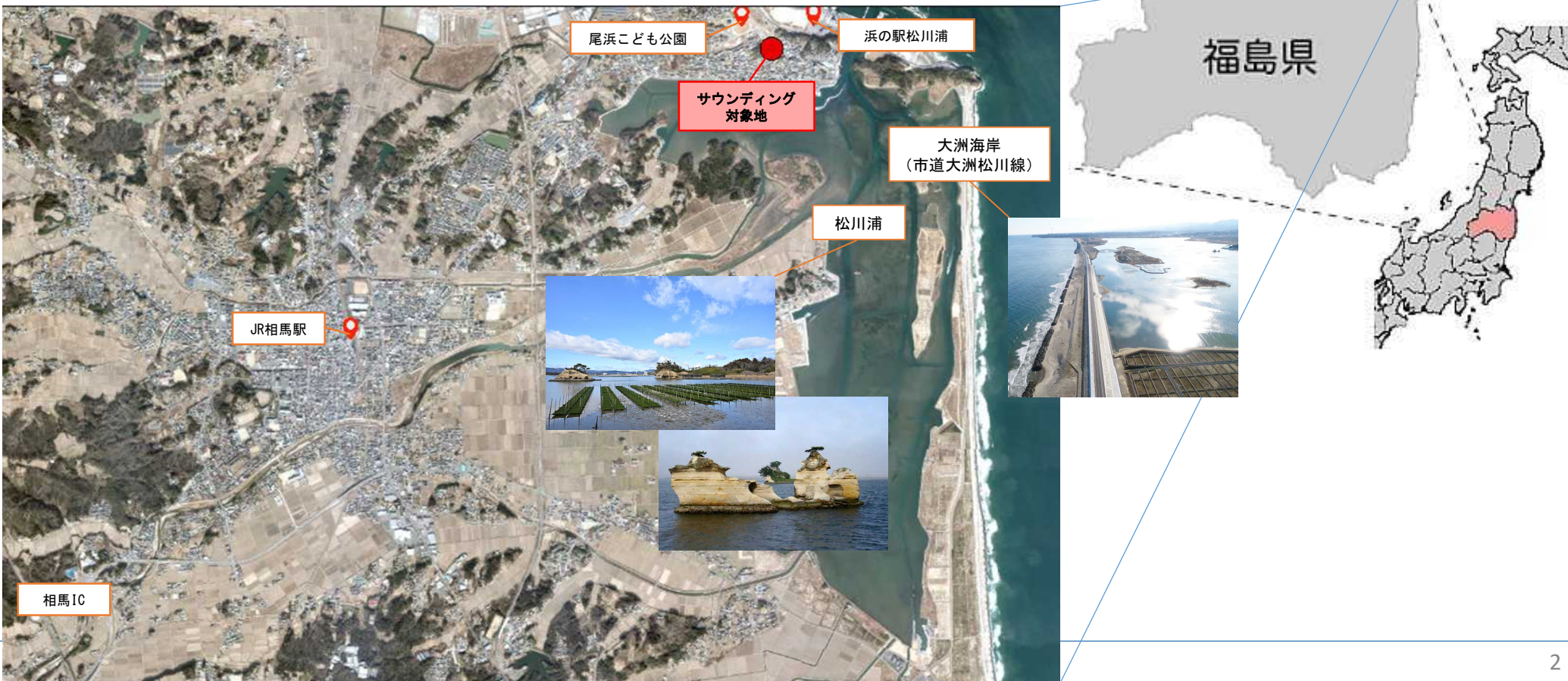
◆アクセス

➤自動車

東京方面より（常磐道 三郷IC～相馬IC）約3時間20分
仙台方面より（常磐道 長町IC～相馬IC）約45分
福島～相馬（東北中央自動車道） 約50分

➤J R

東京駅～仙台駅～相馬駅（東北新幹線、常磐線）約3時間
東京駅～相馬駅（常磐線特急ひたち） 約4時間



サウンディング対象地周辺の状況



対象地の現状① 土地利用者募集について

◆土地の利用用途および条件

- ・復興に資するもの
- ・賑わいの創出または地域からの雇用につながるもの
- ・土地貸付けによる利用とする
- ・建物または工作物を整備すること
- ・現状有姿で引き渡し

◆1回目公募

公募期間：令和4年2月～4月

募集土地：5ブロック ※青色ブロック

募集結果：4ブロックに5件の申込みあり。

地元区長らによる選定委員会を実施し、利用候補者を決定。

現 状：2者と事業用定期借地権設定契約を締結。

◆2回目公募

公募期間：令和6年4月～5月（同年8月から常時募集中）

募集土地：13ブロック ※赤色ブロック＝本サウンディング対象地

募集結果：申込みなし

現 状：復興庁による「土地活用ハンズオン支援事業」に応募し、令和6年度より、利活用方針の検討や利用者とのマッチングを目指して取組中。



※2回目公募情報は市ホームページをご覧ください。

https://www.city.soma.fukushima.jp/shinososhiki/kikakuseisakuka/fukkou_jouhou/15741.html



◆支援対象の土地
本サウンディング対象地と同じ土地（2回目公募土地）

- ◆令和6年度取組内容
- ・市外県外の飲食店や小売業等の約1300社に対し、対象地での事業展開の可能性についてアンケート調査 ⇒ ニーズが極めて低いことがわかった
 - ・周辺がサイクリングルートに設定されていること、市が「みちのく潮風トレイル」の起点終点になっていることから、サイクリングやトレイルでの利活用に着目
 - ・商工会議所、観光協会、尾浜こども公園指定管理者に現状やニーズをヒアリング
 - ・情報発信のチラシを作成し、市内事業者配布

- ◆令和7年度取組内容
- (1)アンケート調査：周辺施設利用者の周遊状況や施設周辺に対するニーズを把握
- ①尾浜こども公園及び浜の駅松川浦の利用者（8月中旬～9月末に実施）
 - ②市公式LINE登録者（9月中旬～9月末に実施）

- 【調査結果】※詳細は次ページ
- ・全体として、コンビニ、飲食店、温浴施設（スパ）、アウトドア施設の希望が多い
 - ・尾浜こども公園利用者は、コンビニ、スーパーの希望が多い
 - ・浜の駅松川浦利用者は、温浴施設、飲食店、コンビニの希望が多い
 - ・市公式LINEでの回答者は、コンビニ、飲食店の希望が多い

- (2)サイクリングに携わっている県内事業者ヒアリング
- 【結果】・対象地でのサイクリング関連事業のポテンシャルはある
- ・サイクリストの交流拠点となる場があれば、SNSの情報発信等で人は集まる などの意見あり。

- (3)情報発信の強化
- 国交省公的不動産（PRE）ポータルサイト、民間事業者運営の空き家バンク等に掲載予定

情報発信用チラシ



土地活用イメージ例

飲食店・カフェ・コンビニ
商業・サービス・観光施設
住宅・子育て・福祉施設
生活・娯楽・文化施設
観光・体験・宿泊施設

周辺環境

尾浜こども公園
松川浦駅
松川浦駅前
みちのく潮風トレイル

募集対象土地

相馬市では、尾浜地区における防災集団移転跡地の土地利用者を募集しています！

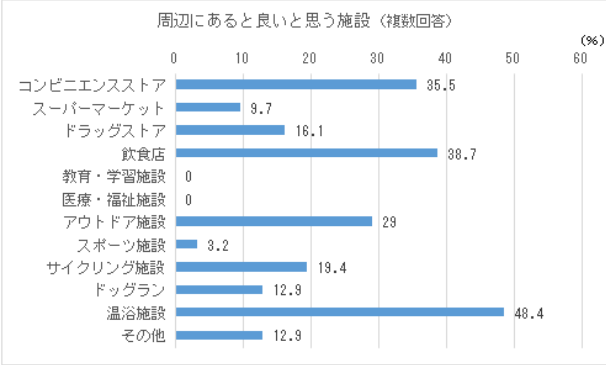
募集対象土地

募集条件

土地活用ハンズオン支援事業におけるアンケート調査の結果

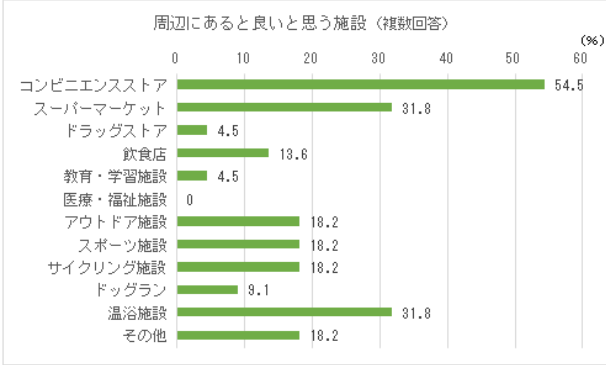
◇浜の駅松川浦利用者（回答数38件）

- 回答者の属性
 - ・ 年 代：40代以上が約7割
 - ・ 性 別：男性58.8%、女性41.2%
 - ・ 居住地：県内50.0%（うち62.5%が相馬市内）、県外50.0%
- 周辺にあると思う施設
 - ① 温浴施設（スパ） 48.4%
 - ② 飲食店（カフェ・レストラン） 38.7%
 - ③ コンビニ 35.5%
 - ④ アウトドア施設 29.0%
- 傾向
 - ・ 県内居住者は、コンビニ、アウトドア施設の回答割合が多い
 - ・ 県外居住者は、温浴施設（スパ）、飲食店の回答割合が多い



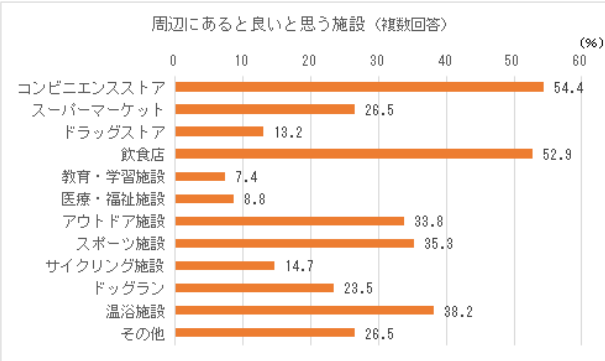
◇尾浜こども公園利用者（回答数22件）

- 回答者の属性
 - ・ 年 代：20代～40代（30代が約6割）
 - ・ 性 別：男性31.8%、女性68.2%
 - ・ 居住地：県内85.7%（うち76.5%が相馬市内）、県外14.3%
- 周辺にあると思う施設
 - ① コンビニ 54.5%
 - ② スーパーマーケット、温浴施設（スパ） 31.8%
 - ③ アウトドア施設、スポーツ施設、サイクリング施設 18.2%
- 傾向
 - ・ 公園の利用は休日（土日祝）の利用が多い（66.7%）。平日・休日どちらも利用する人は28.6%。
 - ・ 子連れ利用者目線の要望が多い（例：軽食や子ども用品（おもちゃ等）を買える施設）



◇市公式LINEからの回答（回答数68件）

- 回答者の属性
 - ・ 年代：30代39.7%、40代25.0%、50代以上が26.4%
 - ・ 性別：男性30.9%、女性67.6%
 - ・ 居住地：県内97.0%（うち96.9%が相馬市市内）、県外3.0%
- 周辺にあると思う施設
 - ① コンビニ 54.4%
 - ② 飲食店（カフェ・レストラン） 52.9%
 - ③ 温浴施設（スパ） 38.2%
- 傾向・推察
 - ・ 自由記述欄より、対象地周辺の住民はコンビニやスーパーを要望していると思われる。



【参考】対象地周辺施設

◆尾浜こども公園

防災集団移転促進事業による住宅移転跡地に整備し、令和2年10月開園。
屋外遊具のほか、芝生広場やフラワーパーク、屋内遊び場を備え、休日を中心に、市内外及び県外から多くの親子連れが利用している。
利用者は年間6～7万人（平日平均約300人、土日約1,000人）。



◆相馬復興市民市場（浜の駅松川浦）

東日本大震災発生前にあった水産物直売センターに代わって、浜のにぎわいを取り戻す拠点施設として整備し、令和2年10月に開業。「浜の駅松川浦」は愛称。
相馬港で水揚げされた魚介類や水産加工品を販売するほか、海鮮丼などを提供するフードコートがある。

市民だけでなく観光客も多く訪れ、にぎわいが戻ってきている。
買い物客は年間約6万人。買い物客数及び売上が年々伸びている。



◆原釜尾浜海水浴場

東日本大震災で被災したが、平成30年7月に再開し、毎年約1.5万人が訪れている。

そばには、令和2年7月に整備した尾浜ビーチバレーボール場がある。



【参考】その他の防災集団移転跡地の現状



市が買い取った土地（災害危険区域）の活用状況

- 未活用
- 活用済み（施設等を整備）
- 防災緑地

